



2019年10月9日
新潟支社



JRE POINT で東日本各地の貴重な文化遺産、伝統芸能の保存と継承、地域の発展を応援 「JRE POINT 地域応援プログラム」 国指定重要無形民俗文化財「黒川能」

JR 東日本ではこの度、新たに「JRE POINT」のポイント交換対象として、東日本各地の貴重な文化遺産、伝統芸能の保存と継承、地域の発展を応援する寄付メニュー「JRE POINT 地域応援プログラム」を設定いたしました。同プログラムでは 2019 年 10 月より、国指定重要無形民俗文化財「黒川能」(山形県鶴岡市)の、保護・継承を目的とした寄付の募集を開始しました。

「JRE POINT」は JR 東日本グループのポイントサービスで、エキナカ、駅ビルやクレジットカードのご利用でポイントがたまるほか、2019 年 10 月 1 日からは鉄道のご利用でもポイントがたまるようになりました。たまったポイントは「1ポイント1円」でご利用いただけるほか、商品等への交換ができます。

黒川能の伝承・保存・後継者育成活動を行っている「公益財団法人 黒川能保存会」に、みなさまのご支援をお願いいたします。

1 寄付先

公益財団法人 黒川能保存会(山形県鶴岡市)

【黒川能とは】

黒川能は、山形県鶴岡市黒川にある春日神社の「神事能」として氏子たちによって継承されてきました。

この能楽は、世阿弥が大成した後の猿楽能の流れをくみ、現在の五流(観世・宝生・金春・金剛・喜多)と同系ですが、いずれの流儀にも属さずに独自の伝承を続け、演式、演目などに古式を残していると言われています。

黒川にどのようにして能楽が入ってきたのか、まだ究明されておりませんが、江戸時代のはじめには、すでに能太夫がいたことや能楽の維持に難渋をきたしていることが記録され、また、室町時代に織られた能装束(三領、国重要文化財)が残っていることなどから、少なくとも室町後期1500年には定着したものと考えられています。

500年以上にわたり、黒川の人々の信仰心と能楽への愛着によって、今日まで守り伝えられ、昭和51年5月4日には、国の重要無形民俗文化財に指定されました。現在は、各祭礼において奉仕、奉納上演の他、黒川能保存会を通し依頼を受けて、海外や全国各地で公演も行っております。



公演時の様子(黒川能保存会 提供)

2 設定期間

2019年10月1日(火) ~ 2020年9月30日(水)

※上記期間終了後、会員の皆さまからいただいたポイントの総額分を一括して寄付します

3 その他

寄付の方法等、詳細については「JRE POINT WEB サイト」をご参照ください。

<https://www.jrepoint.jp/> ([トップページ] → [ポイントを使う] → [JRE POINT WEB サイトで商品に交換する]から)